



UniPak II

UNIPAK 取扱説明書



株式会社 サウンドハウス

〒286-0044 千葉県成田市不動ヶ岡1958

TEL:0476(22)9333 FAX:0476(22)9334

<http://www.soundhouse.co.jp> shop@soundhouse.co.jp

はじめに

この度は Elation UniPak IIをご購入いただき、誠に有難う御座います。
本製品の性能を最大限に発揮させ、末永くお使い頂く為に、ご使用になる前にこの取扱説明書を必ずお読み下さい。また、本書が保証書となりますので大切に保管して下さい。

安全上の注意

- アースピンは本体内部回路がショートした際に感電、火災の危険性を抑える役割をします。必ず電源ケーブルのアースピンを接続して下さい。
- 感電、火災の危険性を最小限におさえる為、雨天や高湿度の状況下で本製品を使用することはおやめ下さい。
- 水などの液体を本体表面にこぼしたり、本体内部にかけたりしないようにご注意下さい。
- 可燃性の液体を本体に近づけないで下さい。
- 本体に強い衝撃を与えたる、激しく振ったりすると故障に繋がる恐れがあります。
- 本製品を分解したり、改造したりしないで下さい。
- 内部パーツが露出した状態で本体に電源を入れて使用しないで下さい
- 定格電圧 AC100V、50/60Hz でご使用下さい。
- 損傷、断線した電源ケーブルを使用することはおやめ下さい。
- 本体に損傷がある場合は本製品の使用をやめて下さい。
- 長期間本製品を使用しない場合は電源ケーブルをコンセントから外して下さい。
- 電源ケーブルは踏まれたり、物に挟まれたりしないようご注意下さい。

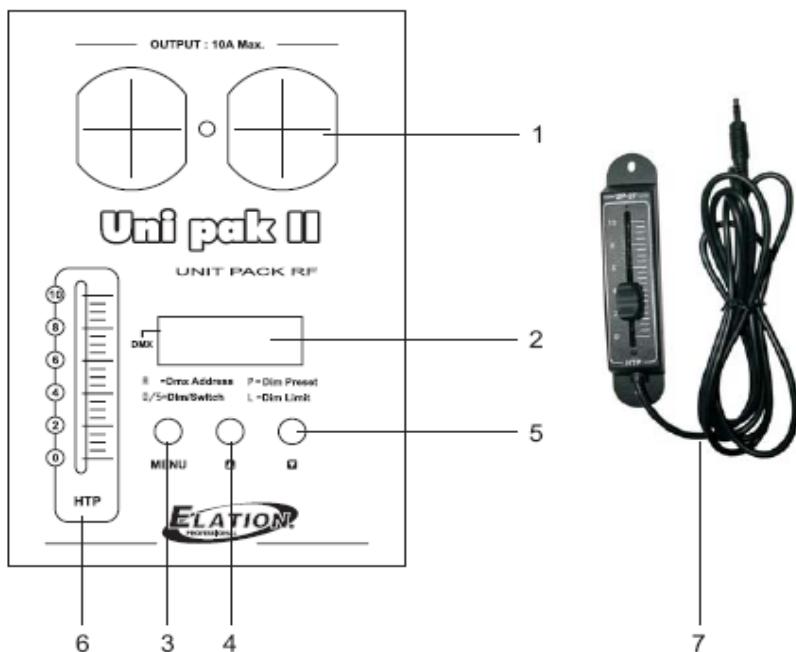
本製品に異常を感じた時は速やかに使用を中止し、お手数ですが販売店もしくは正規代理店に連絡して下さい。無断で機材を開けられた場合、保証の対象外となることがあります。

基本仕様

UniPak II は 1 チャンネル仕様のハイブリッド・ディマー/スイッチパックです。本製品には以下の機能が搭載されています。

- 電源出力端子を 2 つ搭載した 1 チャンネル仕様ディマー/スイッチパック
- ディマーモード、スイッチモードの 2 つのモード切替えが可能
- 本体に搭載されたコントロールフェーダーによって照度を 0~100% の範囲で調節可能
- リモートフェーダーによって照度を 0~100% の範囲で調節可能
- ディスプレイに本体の動作状況や機能状況を表示
- 3 ピン仕様の DMX 入出力端子を搭載
- 最大出力 10 アンペア

フロントパネル



1. 出力端子

最大 10 アンペアの出力が可能なデュアル出力端子

2. ディスプレイ

本体の動作状況や機能状態を表示します。

3. メニューボタン

メニューボタンを使ってメニュー オプションを選択します。

4. UP ボタン

ディスプレイに表示された数値を増加させます。

5. ダウンボタン

ディスプレイに表示された数値を減少させます。

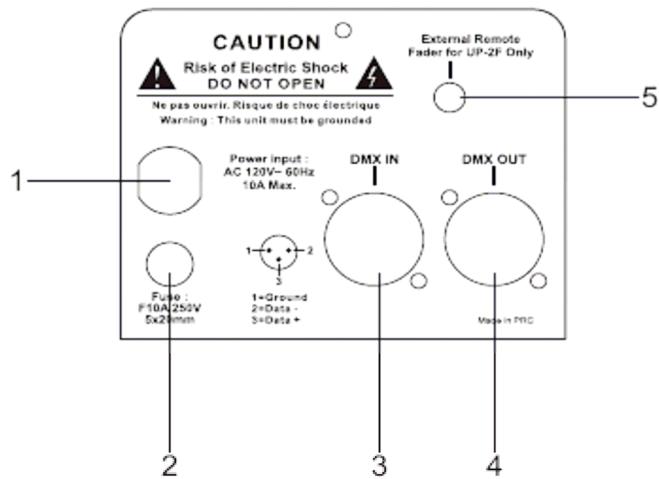
6. HTP フェーダー

チャンネルの輝度を調節します。

7. リモートフェーダー

HTP フェーダーと同じ機能を持ちます。ケーブル長 1.8m で遠隔操作が可能です。

リアパネル



1. 電源ケーブル

AC100V、50/60Hz の電源に接続して下さい。

2. ヒューズボックス

10A 250V、20mm ヒューズのみ使用して下さい。

3. DMX 入力端子

3 ピン XLR 端子から DMX 信号を受信します。

4. DMX 出力端子

3 ピン XLR 端子から DMX 信号を送信します。

5. リモートフェーダー入力端子

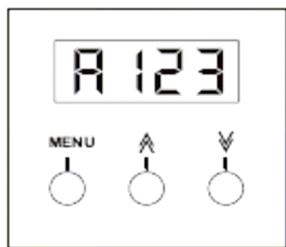
リモートフェーダーを接続します。

基本操作

Uni Pak II に電源を接続して下さい。電源をオンに切り替えると内蔵メモリー機能により、本体を最後に使用した機能設定となります。またその際、DMX アドレス設定も電源を切る前の状態に戻ります。

注：電源の周波数が安定していない場合、ディスプレイに“AC-0”と表示されます。この場合、電源の供給が安定するまで待つか、本体を別の安定している電源に接続して下さい。

DMX アドレス



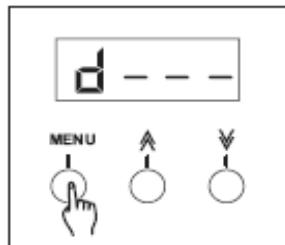
1. ディスプレイ上に“A”と表示されるまで MENU ボタンを押し続けて下さい。ディスプレイ上に“A”と表示され、その右隣に DMX アドレスが表示されます。例えば最後に設定された DMX アドレスが 123 の場合、左の図のように表示されます。



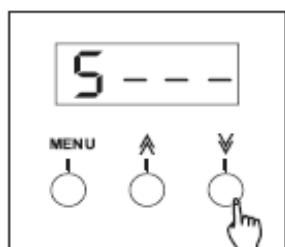
2. UP ボタン/DOWN ボタンを押すたびに DMX アドレス値が変わります。それぞれのボタンを押し続けると DMX アドレス値を素早く変更することが可能です。設定したい DMX アドレスが表示されたら UP ボタン/DOWN ボタンをはなして下さい。DMX アドレス値は自動的に内蔵メモリーに保存されます。

注：DMX アドレス値を設定している際はチャンネル出力は行われません。

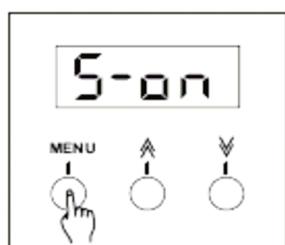
スイッチパックモードへの設定



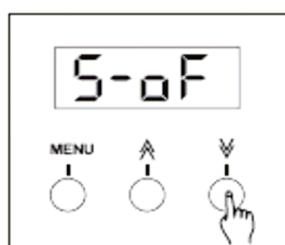
1. ディスプレイ上に“S”、または“d”と表示されるまで MENU ボタンを押して下さい。



2. ディスプレイ上に“d”と表示された場合は DOWN ボタンを一度押して“S”を表示させて下さい。もし“S”が表示された場合はそのまま次のステップに進んで下さい。



3. MENU ボタンを押してスイッチパックモードに入って下さい。



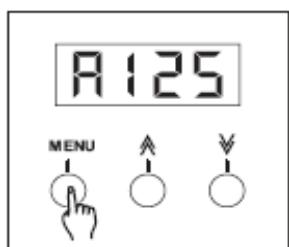
4. 本体がスイッチパックモードに設定されている時、以下の2つのオプションから選択する必要があります。

Switch On(S-on) :

DMX 信号に関わらず、本体の電源を自動的にオンに切替えます。

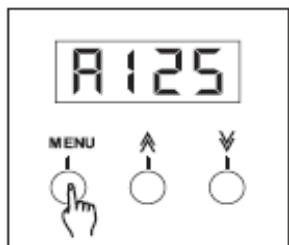
Switch OFF(S-off) :

DMX 信号によってスイッチモードを切替えます。チャンネル値が 40%を超えるとオンに切替わり、それ以下の場合はオフになります。オン/オフを切り替えるには UP ボタン/DOWN ボタンを押して下さい。

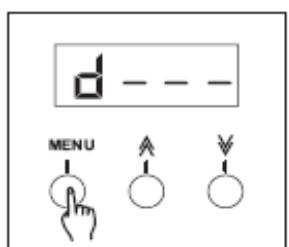


5. 設定が終了したら MENU ボタンを押して決定して下さい。DMX アドレスモードに戻ります。

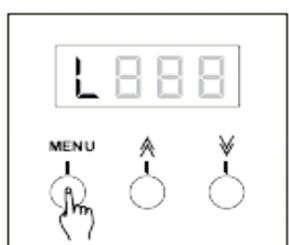
ディマーパックモードへの設定



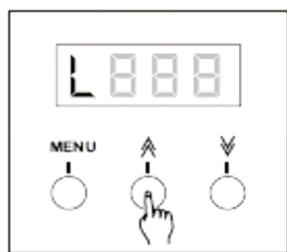
1. ディスプレイ上に“S”、または“d”と表示されるまで MENU ボタンを押して下さい。



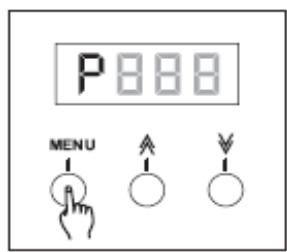
2. ディスプレイ上に“S”と表示された場合はDOWNボタンを一度押して“d”を表示させて下さい。もし“d”が表示された場合はそのまま次のステップに進んで下さい。



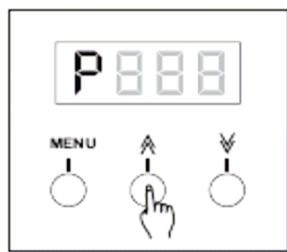
3. MENU ボタンを押してディマーパックモードにして下さい。



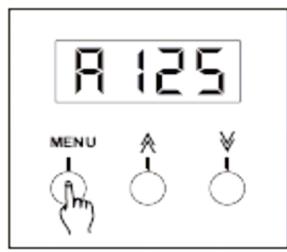
4. UP/DOWN ボタンを押してディマーリミット値を 10-100 の範囲で設定します。それぞれのボタンを押し続けるとディマーリミット値を素早くスクロールすることができます。尚、ディマーリミット値は自動的に内蔵メモリーに保存されます。



5. 設定が終了したら MENU ボタンを押して決定してディマープリセットモードに入ります。



6. UP/DOWN ボタンを押してディマープリセット値を 00-100 の範囲で設定します。それぞれのボタンを押し続けるとディマープリセット値を素早くスクロールすることができます。尚、ディマープリセット値は自動的に内蔵メモリーに保存されます。



7. 設定が終了したら MENU ボタンを押して決定して下さい。DMX アドレスモードに戻ります。

本体の設置

Uni Pak II はトラスや天井に設置するようにデザインされています。本体を設置する際は必ず適切なクランプやセーフティーウィイヤーを使用して下さい。Uni Pak II 本体にクランプを取り付ける為、または本体を壁や天井に固定する為の穴が 2 つ用意されています。本体を設置する際は最低 30cm 以内に物を置かないで下さい。

ヒューズの交換

注：ヒューズを交換する際は必ず電源ケーブルをコンセントから外して下さい。

マイナスドライバーを使ってヒューズホルダーのキャップを外して下さい。古いヒューズを取り除き、全く同じ仕様の新しいヒューズと交換して下さい。ヒューズキャップを元の状態に戻し、固定して下さい。

製品仕様

使用電源： AC100V、50/60Hz 10A(MAX)

チャンネル最大出力： 10A

チャンネルヒューズ： F10A 250V 20mm

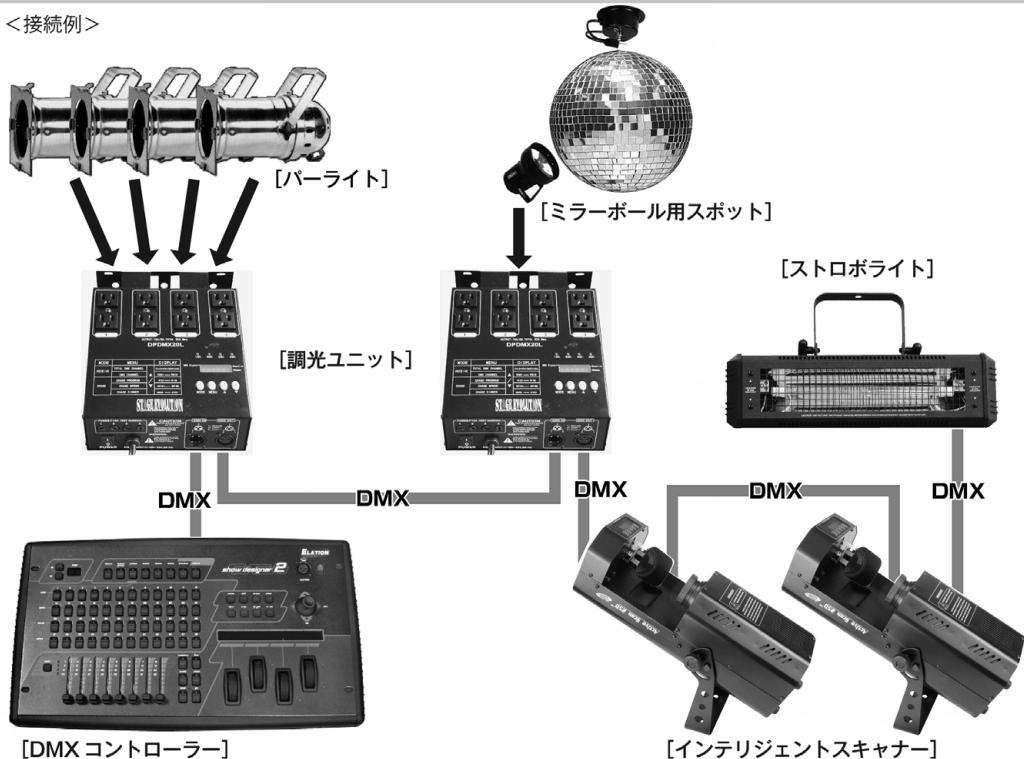
DMX 入出力端子： XLR オス/メス端子

サイズ： 9.2(W) × 6.7(H) × 18.4(D)cm

重量： 1.3kg

DMX対応照明機器の基本的な接続方法

<接続例>



- DMX対応の照明機器は、上の図の様に配線を行います。配線用ケーブルにはDMXケーブルを使用して下さい。
- 接続する台数に制限はありませんので、複数の照明機器を簡単に接続可能です。DMX対応のスモークマシンも同様に接続可能です。
- DMX対応の照明機器を接続する順番は決まっていませんが、なるべく距離が長くならない様に配線を行って下さい(※)。
- 調光ユニット(ディマー)を使用し、パーライト(PAR64やPAR38等)の明るさを調節します。
- インテリジェントスキャナーや、ストロボ等の電源は通常のコンセントからとて下さい。パーライト以外の照明機器の電源を調光ユニットから取った場合、動作が不安定になる、又は動作しない場合があるばかりか故障の原因にもなります。DMX非対応のインテリジェントライトも同様に通常のコンセントから電源を取って下さい。

※一長距離の配線について—

50mを超えるような配線になる場合、DMX信号の伝達がうまくいかず照明機器の動作が不安定になることがあります。その場合、ターミネーターを作成/使用して下さい。ターミネーターとは最後に接続されたDMX対応照明機器の出力に差し込むダミープラグをさします。作成の方法は下記の作成方法を参照して下さい。

ターミネーターの作成方法

	ターミネーターは、HOSA DMT-414をお薦め致します。
	自作される場合はオスのXLRコネクターを使用し、120Ω 1/4Wの抵抗を、図の様に2番と3番ピンに接続しショートさせて下さい。



保証書

保証書

ご使用中に万一故障した場合、本保証書に記載された保証規定により無償修理申し上げます。

お買い上げ日より1年間有効

■保証規定

保証期間内（ご購入より1年間）において、取扱説明書・本体ラベルなどの注意書に基づき正常な使用方法で万一発生した故障については、無料で修理致します。保証期間内かどうかは、サウンドハウスからのご購入履歴により確認を行います。

但し、保証期間内でも、下記のいずれかに該当する場合は、本保証規定の対象外として、有償の修理と致します。

1. お取扱い方法が不適当（例：過大入力によるウーハー焼けなどの故障等）なために生じた故障の場合
2. サウンドハウス及びサウンドハウス指定のメーカー或代理店が提供するサービス店以外で修理された場合
3. 製品に対して何らかの改造が加えられた場合
4. 天災（火災、塩害、ガス害、地震、落雷、及び風水害等）による故障及び損傷の場合
5. 製品に何らかの理由で異物が付着、もしくは流入したことによる故障及び損傷とみなされた場合
6. 落下など、外部から衝撃を受けたことにより故障及び損傷がおきたとみなされた場合
7. 異常電圧や指定外仕様の電源を使用したことによる故障及び損傷とみなされた場合（例：発電機などの使用による異常電圧変動）
8. 消耗部品（電池、電球、ヒューズ、真空管、ベルト各種バーツ等）の交換が必要な場合
9. 通常のメンテナンスが必要とみなされた場合（例：スマートマシン等の目詰まり、内部清掃、ケーブル交換等）
10. お客様自身で行った調整や修理作業が原因で生じた破損事故や故障
11. その他、メーカーの判断により保証外とみなされた場合

●運送費用

通常、修理品の持込等に要する費用は全てお客様のご負担となります。但し、事前に確認のとれた初期不良ならびに保証範囲内の修理の場合は、佐川急便に限り着払いを受け付けます（下記RA番号が必要です）。沖縄などの離島の場合は、着払いでの受付は行っておりません。送料はお客様のご負担にて、どこの運送会社からでも結構ですので発送願います。

●RA番号（返品承認番号）

初期不良または保証内の修理における着払いでの運送については、サポート担当より通知されるRA番号が必要です。ご返送される場合は、必ずRA番号を送り状シールに明記してください。RA番号が無いものについては、佐川急便以外の運送会社での着払いは一切お受けできませんのでご了承ください（お客様のご負担の場合はどの便でも結構です）。

●注意事項

サウンドハウス保証は日本国内のみにおいて有効です。また、いかなる場合においても商品の仕様、及び故障から生じる損害（周辺機器の損害、事業利益の損失、事業の中止、事業情報の損失、又はその他の金銭的損害）に関してサウンドハウスは一切の責任を負いません。